3月12日（木） 10：30
パラナ州政府による120周年開幕式典
梅田大使挨拶

皆様おはようございます。

ベト・リッシャ・パラナ州知事はじめパラナ州政府要人の方々、トラヤーノ・パラナ州議会議長、ニシモリ連邦下院議員、タカヤマ連邦下院議員はじめパラナ州選出の議会関係者の皆様、ヤマワキ120周年実行委員会会長はじめパラナ州日系社会代表の皆様、

皆様のご臨席の下、日本ブラジル外交関係樹立120周年、パラナ州日本人入植100周年、兵庫県パラナ州姉妹関係45周年記念開幕式典が開催されるにあたり、日本政府を代表して挨拶させていただきます。

4年前の昨日（3月11日）、日本では東日本大震災が発生し、甚大な被害が発生しました。当時、パラナ州からはリッシャ知事はじめ多くの方々から、沢山の支援と励ましをいただきました。皆様の支援と励ましのおかげで、日本は着実に復興への歩みを進めています。日本政府を代表し、改めて皆様のご厚意に感謝申し上げます。

日本とブラジルの関係は伝統的に極めて緊密ですが、昨年、今年、明年の3年間は日本とブラジルの二国間関係を一層緊密化する上で特に重要な時期に当たると考えています。

昨年8月、安倍総理が日本の現役の総理大臣としては10年ぶりにブラジルを訪問しました。ルセーフ大統領との首脳会談においては様々な合意がありましたが、本年2015年については、日伯外交関係樹立120周年として祝賀することが合意されました。パラナ州をはじめブラジル全土と日本において120周年を祝うための様々な記念行事予定されていることに加え、ルセーフ大統領の訪日、皇族の訪ブラジルなどハイレベルの人的交流も期待されています。

また、明年（2016年）は、リオ・デジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催されます。2020年に東京大会を開催する日本にとっては、リオとの連携は、非常に大きな意味を持ちます。

パラナ州にはサンパウロ州に次ぐ規模である約15万人の日系人が在住しています。パラナ州への日本人移住は1930年代より本格化し、日本人移住者は当初、主に農業分野で活躍されました。その子孫である日系人の方々は今日、農業分野のみならず、政治、ビジネス、医学、文化など幅広い分野で活躍し、パラナ州の発展に大きく貢献されています。このことは、日本大使である私にとっても非常に大きな誇りであります。

パラナ州において日系人の方々は、「信頼」「信用」を勝ち得ておられますが、日系人の皆様のご尽力に対して敬意を表すると共に、パラナ州日本人入植100周年を心よりお祝いしたいと思います。

今年パラナ州と兵庫県との姉妹都市提携は45周年を迎えます。両州県の交流は活発であり、クリチバ市と姫路市、マリンガ市と加古川市、ロンドリーナ市と西宮市、パラナグア市と淡路市などの姉妹都市提携、並びに、兵庫県の日本企業のパラナ州進出に結実しています。

本年4月にはニシモリ連邦下院議員を団長とする使節団、並びに、パラナ州日伯商工会議所の経済使節団が訪日予定です。8月には井戸兵庫県知事のパラナ州訪問も予定されています。パラナ州と兵庫県、日本の地方公共団体との交流に尽力されている皆様のご努力に対して感謝を申し上げるとともに、パラナ州と兵庫県の関係が、姉妹提携45周年を機に一層強化されることを心より期待いたします。

また、今回、私のパラナ州訪問に合わせ、日本を代表する企業関係者12名の方がクリチバを訪問。午後にリッシャ知事をはじめとするパラナ州幹部の方々ととの会談が行われますが、今回の私の訪問が日本とパラナ州との一層の経済関係強化の一助になることを期待。

最後に、本日の開幕式典の開催に協力して頂いたリッシャ州知事と州儀典の皆様、資金的支援をして頂いたパラナ州電力公社、並びに、パラナ州日系実行委員会の方々に深く感謝申し上げますと共に、本年一年に亘り開催される各種記念事業を通じて、日本とパラナ州の関係がさらに発展することを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。